

## 大塚製薬との協定で初の連携事業

## 災害時対応の自販機設置

## 「シェルマよしご」などへ田原市

用自動販売機を設置した。

管理運営を行うサンカンパニーの池田恵子常務取締役は「停電時でも、カギを開けて中のワイヤーを手で引っ張ると飲料が取り出せるので、災害時に皆さんのお役に立ちたい」と話した。1台で約400本の飲料が入るといふ。

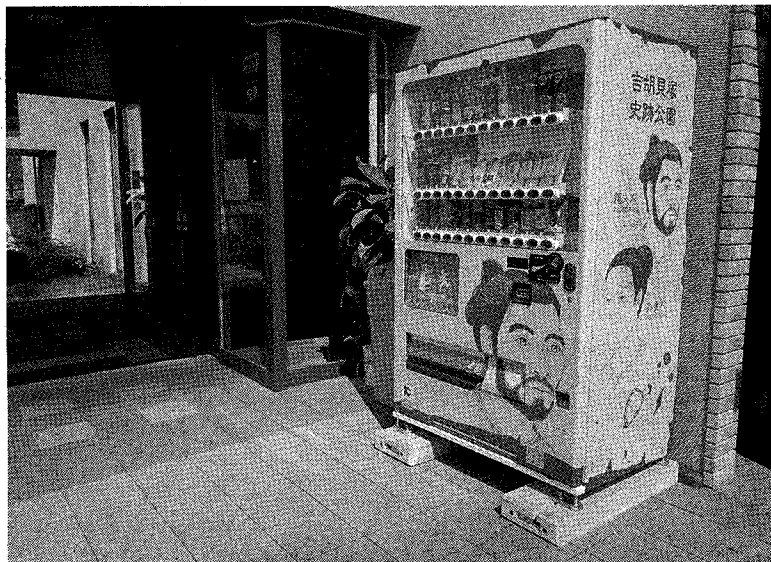
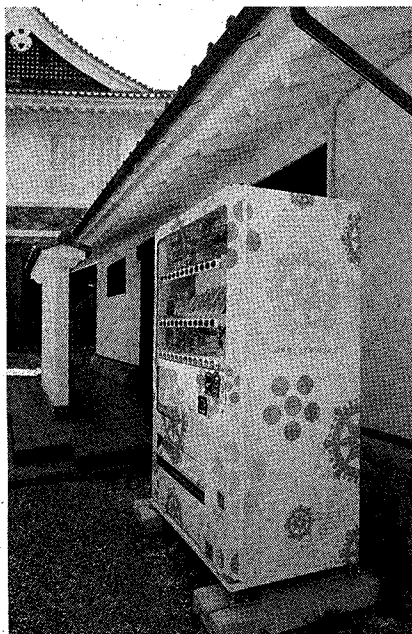
また、地域の特色を表現しようと、シェルマよしごの自販機には縄文人と弥生人のイラスト、博物館の自販機には田原城主の家紋が施された。

市教育部文化財課の高橋映美子主任は「サンカンパニーの協力ですばらしいデザインとなり、とてもありがたい」と話した。

【小島幸子】

田原市は、大塚製薬との包括連携協定に基づき初の連携事業として6日、吉胡貝塚史跡公園内の「シェルマよしご」と市博物館入口に災害対策

田原城主の家紋の自販機  
田原市博物館で



縄文人と弥生人のラッピングが施された自販機  
＝シェルマよしごで

吉胡貝塚  
史跡公園

縄文人  
約10000年前

弥生人  
約2000年前

